

令和2年度 第5回 高士区地域協議会 次 第

日時：令和2年9月9日(水) 午後6時30分～
会場：高士地区公民館 大会議室

延べ1時間10分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 地域活動支援事業の追加募集について

① 進め方の説明 【5分】

② ヒアリング 【15分】

③ 採点 【5分】

— 休憩（10分） —

④ 審査・採択すべき事業の決定等 【15分】

(2) 高士区の概要について 【15分】

3 その他

(1) 次回開催日の確認等 【3分】

- 日時 : 10月 日 () 午後6時30分から
- 開場 : 高士地区公民館 大会議室
- 内容(案) : 地域活動支援事業の課題の洗い出し・自主的審議

(2) その他

4 閉 会

3 地域協議会の役割

地域協議会には、地域住民としての観点から地域の課題や地域の活性化などについて、話し合い、話し合いの結果を地域に説明したり、話し合った内容を地域団体等との連携・調整により取り組んだりするとともに、市長に意見として伝えること等を行う役割（2 ページ参照）があります。

また、区内にある集会施設を始めとした公の施設の設置や廃止、管理の在り方などについて、市長から意見を聴かれた事項（諮問）について話し合い、その結論を市長に返す（答申）役割もあわせて持っています。

その役割を果たすため、主に「自主的審議」「地域を元気にするために必要な提案事業」「地域活動支援事業」「諮問・答申」を活用していくことになります。

（1）自主的審議

○自主的審議とは

地域協議会は、地域住民としての観点から地域の課題や地域の活性化などについて話し合います。このため、自主的な判断で区内の課題等について話し合うこととなります。自主的審議事項として話し合った結果については、その内容に応じて、区内で活動している団体に協力・連携を求めるほか、市長に意見書を提出し、市政での実現を求めていくことができます。

なお、地域協議会は、地域住民の意見を市政に反映するための仕組みであることから、区内に住む住民としての観点からの議論となり、市長に提出される意見書についても、当該区との関わりを基にした内容でなければなりません。



これまで自主的審議でどんな意見が出されたのかな？

小学校や保育園の統合を進めてほしいという意見書もあったよ。

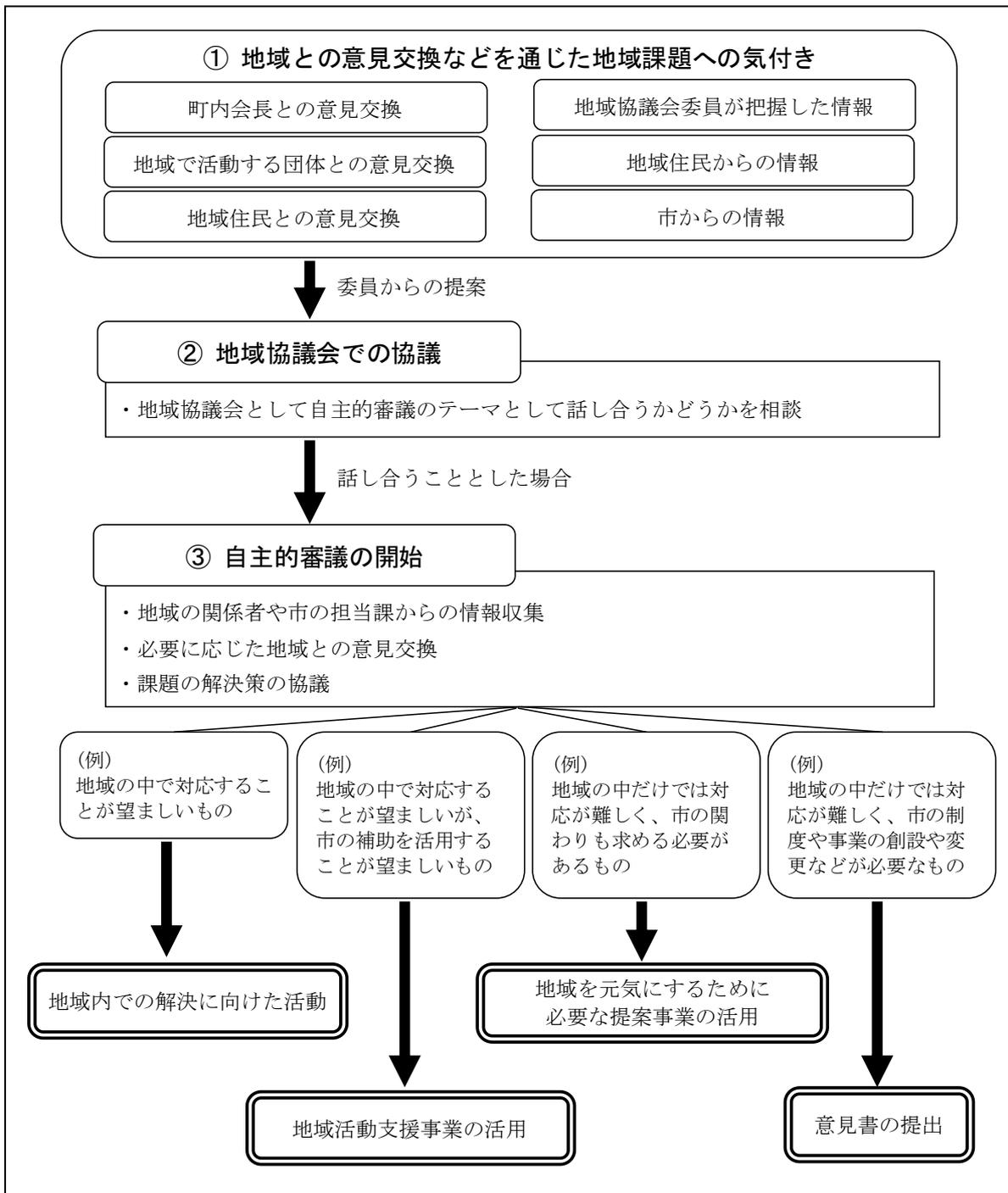


雪をいかした地域づくりや地区外からの移住促進に向けた話し合いなどがあったよ。

表 3：地域協議会で話し合われたテーマの例

テーマ	主な内容
区の魅力発見・発信について	交流人口の拡大や区内の住民が地域に愛着や誇りを持てるようにするために、区の魅力ある地域資源を発信する方法を検討する。
地域活動における人員不足について	人口減少や高齢化により、各地域において、活動に携わる人員確保が困難となっているため、今後も地域を守り育むための活動が継続できるよう方策を検討する。

図 5：自主的審議の流れ



高 土 区 に 関 す る デ ー タ

1 国勢調査の結果

(1) 高土区の人口及び世帯数

	H12	H17	H22	H27
人口（人）	1,808	1,672	1,561	1,437
世帯数（世帯）	461	455	460	448

- ・H27 国勢調査における上越市の人口は 196,987 人、世帯数は 71,015 世帯であり、市全体に占める高土区の人口は 0.73%、世帯数は 0.63%となっています。
- ・高土区の人口は、H12 年と比較して 20.5%減少しており、毎年概ね 25 人ずつ減少している計算になります。（なお、市人口の H12 年と比較した減少率は 7.0%）
- ・H12 年の国勢調査の人口を基準とした推移及び他区との比較は裏面のとおりです。

(2) 年齢別人口

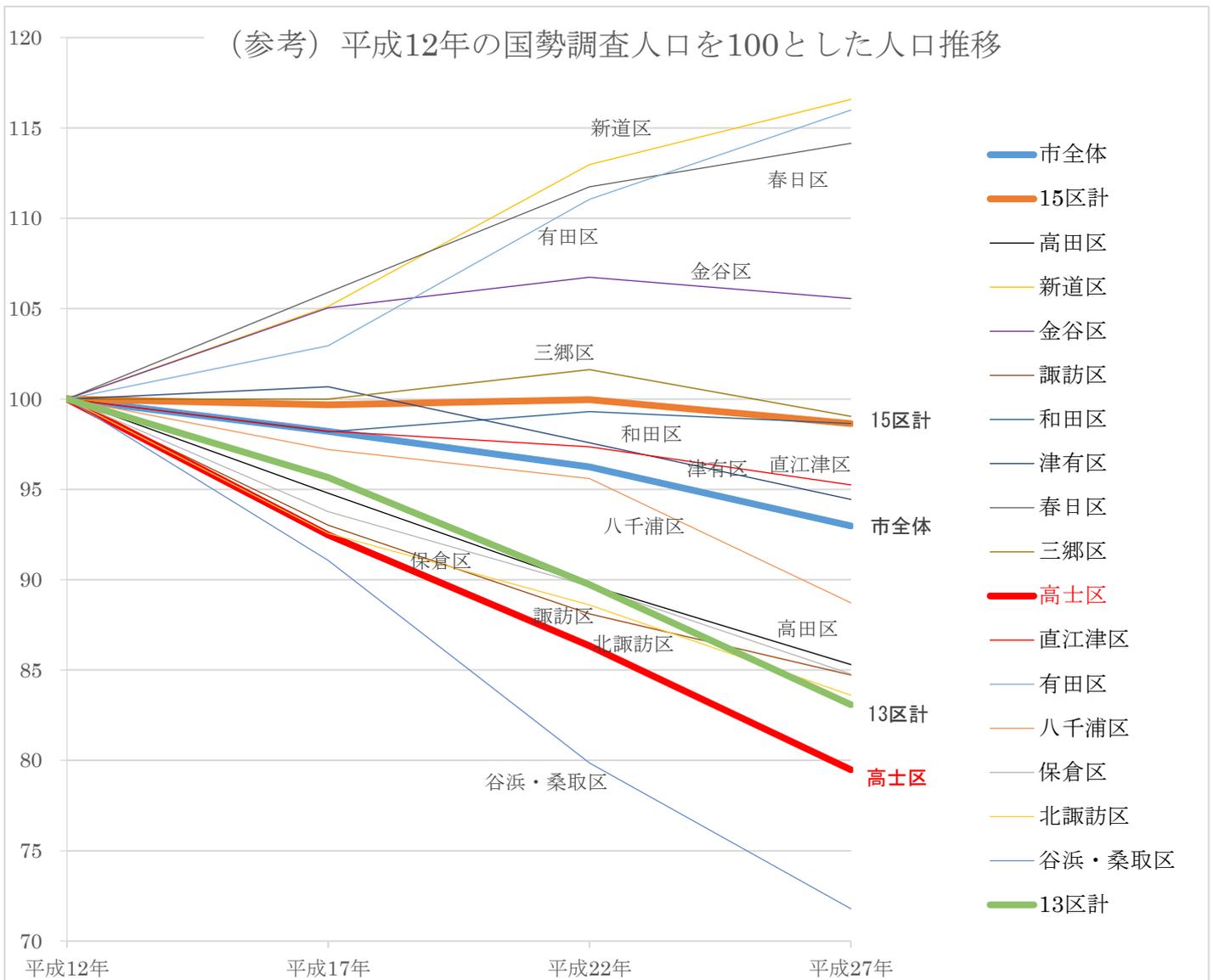
	H17		H27		H27-H17
	人口（人）	構成比（%）	人口（人）	構成比（%）	人口（人）
0～14 歳	210	12.6	153	10.6	▲57
15～64 歳	979	58.5	777	54.1	▲202
65 歳～	483	28.9	507	35.3	24
合計	1,672	100.0	1,437	100.0	▲235

- ・H27 国勢調査における上越市の年齢別人口の構成比は、次のとおりです。
0～14 歳：12.8% 15～64 歳：57.1% 65 歳～：30.1%

(3) 世帯構成の推移

	H17		H27		H27-H17
	世帯数（世帯）	構成比（%）	世帯数（世帯）	構成比（%）	世帯数（世帯）
単独世帯	34	7.5	54	12.1	20
夫婦のみ	67	14.7	89	19.9	22
ひとり親と子ども	36	7.9	45	10.0	9
夫婦と子ども	91	20.0	101	22.5	10
3 世代世帯	170	37.4	119	26.6	▲51
その他	57	12.5	40	8.9	▲17
合計	455	100.0	448	100.0	▲7

- ・H27 国勢調査における上越市の世帯構成の構成比は、次のとおりです。
単独世帯：26% 夫婦のみ：20% ひとり親と子ども：9%
夫婦と子ども：24% 3 世代世帯：15% その他：6%



2 区内の主な公の施設

- ◆高士保育園（所在地：大字飯田、建築年：S53）
 - ・R2年5月1日現在の園児数：30人（定員50人）
- ◆高士小学校（所在地：大字高津、建築年：S63）
 - ・R2年5月1日現在の児童数：51人（複式学級あり）
- ◆高士地区公民館（所在地：大字飯田、建築年：H8）
 - ・H30年度利用者数：10,346人
- ◆高士地区多目的研修センター（所在地：北方、建築年：H4）
 - ・H30年度利用者数：3,373人

1

地域活動支援事業

審査状況

	H28	H29	H30※	R1
配分額	4,900千円	4,900千円	4,900千円	4,900千円
提案件数	16件	14件	15件	15件
提案額	5,912千円	6,016千円	5,640千円	5,214千円
採択額	4,900千円	4,900千円	4,900千円	4,900千円

※H30は追加募集を実施

2

自主的審議事項

人口減少の抑制

高士区における人口減少を抑制するため、空き家の活用による人口減少の抑制策を協議してきた。

【協議経過】

- ・高士地区町内会長協議会による空き家・空き地調査
- ・地域おこし協力隊の導入検討
- ・地域協議会内における方策検討

【協議結果】

平成29年から協議を行ってきたが、令和元年度に当テーマにおける審議を見直し、再度、地域の課題を検討した。



※上越市創造行政研究所発行 高士区の人口データから引用

3

その他の活動内容

高士スポーツ広場の廃止に関する諮問

平成30年1月9日に、施設の老朽化が著しく、近隣に同様の機能を有する施設が複数があることから、高士スポーツ広場の廃止に関する諮問が行われた。

○高士区地域協議会の答申（回答）

高士スポーツ広場の廃止について、適当と認めます。

体育館及び研修室について、解体工事までの間に、施設に何らかの危険があると認められた場合は、速やかに解体等を行い、安全を確保してください。

○答申に対する市の回答

体育館及び研修室については、周辺環境に影響を及ぼすことのないよう安全確保に努めるとともに、可能な限り早期に建物を解体します。

地域との意見交換会

地域の声を把握するため、意見交換会を開催した。

①高士の未来づくり懇談会（H28・H29）

高士区の現状や課題を把握するため、地域住民との懇談会を開催した。



②雄志中学校生徒との意見交換会（H28・H29）

雄志中学校生徒が行っているワークショップの結果報告を受け、若者から見た地域について把握した。